

社会福祉法人浪江町社会福祉協議会

令和6年度事業報告

東京電力福島第一原子力発電所事故による全町避難から14年が経過しました。徐々にではありますが、町内の環境も整備され、住民も増えているものの、町内をはじめ、未だ避難先での生活課題が多様化しており、社会福祉協議会としての様々な支援が求められてきました。一人暮らしや高齢化による健康への不安、さらには、先の見えない避難生活での生活費の増加等、それぞれの人々を取り巻く環境は年々複雑化しているのが現状です。

このような状況の中、町民一人ひとりが地域社会の一員として安心して生活できるよう、町、避難先自治体及び各種関係機関との連携を図り、全般的な支援拡充に取り組みました。

1. 重点目標

(1) 持続できる組織への取り組み

地域包括支援センター、訪問介護や通所介護等の専門的な支援を充実させるとともに、生活支援相談員事業及び復興支援員事業による個別訪問や相談業務を継続的に行いました。さらには、生活の自立再生に向けた支援として、復興住宅や町へ戻った方々への地域コミュニティの再生を促す役割を果たしました。

(2) 住民の権利擁護に向けた取り組みの推進

生活困窮者自立支援法に基づき町との連携のもと、実態調査、訪問活動の支援を行いました。また、成年後見制度の取り組みとして、制度の仕組みを啓発するとともに、各種研修会に参加し対応の充実を図りました。

(3) 包括的な支援体制の構築

地域包括ケアシステム構築を目的として、町内の住民の状況把握や課題を整理し、住民同士が支えあって生活できるよう協議を重ね、より住みやすい町づくりを目指しその一端を担いました。

2. 法人運営事業

(1) 庶務

定款の改正（事業の廃止・追加）をはじめ諸規程や規則等の整備を行い、合理的な事務処理に努めました。

また、本会ホームページ及び広報誌「はぐくみ」において事業及び予算・決算等の情報公開を行いました。

- ① 法人全体の事業展開と予算執行管理
- ② 会計事務処理要綱に基づく会計事務
- ③ 公認会計士による適時指導

(2) 理事会等の開催

理事会・・・4回開催（R6/5/31・6/21・12/5・R7/3/17）

評議員会・・・2回開催（R6/6/21・R7/3/24）

監査会・・・1回開催（R6/5/17）

評議員選任・解任委員会・・・2回開催（R6/5/31・12/5）

3. ボランティア支援・推進事業

(1) ボランティアセンター運営事業

現在町内に居住している方や、帰町を予定している方が安心して暮らせるよう、環境整備を中心とした復興支援、デイサービスへの慰問活動など、町民に対してボランティア活動の調整を行いました。

相談件数	活動件数	延べ活動人数	活動内容：慰問活動、草刈りなど
6	12	74	

4. 総合的な生活支援事業

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託）

低所得世帯などの生活安定のため、相談を受け付けて対応しました。

種 別	相談件数	貸付件数
緊急小口資金	7	2
教育支援資金	1	0

(2) 生活援助資金貸付事業（町社協）

低所得世帯を対象とし、一時的な生活費等を貸し付けることで当面の生活を支援しました。

・相談件数 4 件 貸付件数 3 件（5 万円限度）

(3) 食糧支援事業

浪江町内に居住又は住所がある生活困窮者が困窮状態から早期の安定を図るため、本人の状況に応じた包括的かつ継続的な支援を行いました。

また、制度を利用することにより生活が安定する世帯に対し、一時的な食糧支援を行いました。

・支援数 8 件

(4) 生活支援相談員配置事業（県社協受託）

県内で未だ避難生活を継続している浪江町民へ戸別訪問を主体とした見守りや情報提供、交流の場づくり等を行いました。

・訪問エリア

中通り地区：桑折町・福島市・川俣町・二本松市・大玉村・本宮市

相双地区：南相馬市

いわき地区：いわき市・広野町

訪問先種別	訪問内訳件数			摘 要
	訪問 (在宅)	訪問 (留守)	相 談	
災害公営住宅	1	0	0	主な相談内容 日常生活 金銭問題 健康・医療 介護等
復興住宅	3,477	2,761	53	
他地域で住宅再建	522	690	3	
帰町し居住	4	1	0	
その他（賃貸住宅等）	43	28	1	
計	4,047	3,480	57	

・サロン開催及び協力：43回 延べ参加者 382名

(5) 復興支援員事業（町受託）

町外避難者が心身共に安定した生活ができるよう支援を行いました。

【県内】

内 容	訪 問	電 話	相談対応
延べ件数	2,130	3,633	3,468

【県外】

内 容	訪 問	電 話	相談対応
延べ件数	181	2,247	887

【相談内容内訳件数】

	健康・ 医療	金 銭 問題	家族	日 常 生活	住居	就労	介護	孤立	制度・ 補償	法律	そ の 他
県内	1,018	204	24	2,070	7	1	42	7	3	2	90
県外	95	1	4	682	3	1	10	1	3	1	86
合計	1,113	205	28	2,752	10	2	52	8	6	3	176

(6) 生活支援バス運行业務（町受託）

二本松市・本宮市及び南相馬市の復興公営住宅等に居住する町民の日常生活（買い物・通院等）の安定的な移動手段と介護予防にかかる支援策として、居住住民の福祉の増進に努めました。また、令和５年４月から帰還困難区域の一部が避難指示解除されたことに伴う避難先から自宅への帰還準備のための交通手段となりました。

	運行日数	利用者数
南相馬～浪江便	143 日	1,026 人
二本松・本宮便	143 日	2,134 人
二本松～浪江便	18 日	71 人
合 計	304 日	3,231 人

５．高齢者福祉事業の推進

（１）日常生活自立支援事業（県社協受託）

認知症・精神・知的などの障がいを持った方が自立した日常生活を送れるように、支援計画に基づき日常生活の事務手続きや生活費払出しの代行支援を行いました。

実利用者数	問合せ件数	新規契約件数	支援・相談援助回数	障害区分
2 名	0 件	0 件	37 回	知的障害者 1 名 認知症高齢者 1 名

（２）福祉用具貸与事業

車いす貸与・・・延べ 10 回

６．福祉車両運行事業

（１）車いす同乗自動車貸出・・・延べ 8 回

（２）福祉バス貸出・・・延べ 42 回

７．屋内アスレチック事業（町受託）

子どもから大人まで安心して遊べる場所としてふれあいげんきパークを運営しました。

	キッズスペース 利用人数（人）		ボルダリング 利用人数（人）		ボルダリング 17 時以降 利用人数（人）		
	大 人	子ども	大 人	子ども	17：00	18：00	19：00
計	6,876	7,472	961	603	145	138	20

８．浪江町共同募金委員会の運営

（１）赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金

10 月から 3 月の運動期間に、町内の企業等への呼びかけ、募金箱設置等によ

り、赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の受付を行いました。

【赤い羽根共同募金（一般募金）】

種別	件数（件）	金額（円）
法人	11	95,000
職域	13	60,662
個人	5	53,703
その他（募金箱、インターネット等）	15	66,804
合計	44	276,169

【歳末たすけあい募金】（12月1日～12月31日）

種別	件数（件）	金額（円）
法人	4	25,000
職域	14	88,700
個人	5	115,908
合計	23	229,608

（2）募金の配分事業

住民同士の交流を目的として活動をしている団体に対し、活動にかかる経費を助成しました。

・8団体 計 200,000 円（1 団体 25,000 円）

（3）住民支え合い活動助成事業の受付

地域コミュニティの再生を図り、互いに支え合い、見守り合える関係づくりのきっかけとなるよう、「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金 2」の助成事業の受付を行いました。

・受付件数 1 件

9. 会員等の募集

本会会費は休止としながらも、共同募金や日本赤十字社、国内災害義援金の募集を実施しました。

（1）社会福祉事業協力寄附金（本会への篤志寄附）

種 別	令和 6 年度		令和 5 年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
一般寄附金	4	100,000	6	408,660
御遺志金	40	1,330,000	57	1,670,000
計	44	1,430,000	63	2,078,660

(2) 日本赤十字社

種 別	件 数 (人)	金 額 (円)
日赤社資	2	10,000
令和 6 年能登半島地震災害義援金	8	402,969
令和 6 年台湾東部沖地震救援金	2	15,000
令和 6 年 7 月 25 日からの大雨災害義援金 (秋田県・山形県)	1	5,000
令和 6 年 9 月能登半島大雨災害義援金	1	5,000
レバノン人道危機救援金	1	5,000
令和 7 年大船渡市赤崎町林野火災義援金	1	5,000
計	16	447,969

10. 広報活動事業

浪江町社協だより「はぐくみ」を3回(6月・12月・3月)発行し、事業計画・報告、予算・決算をはじめとし、共同募金、各事業等本会の活動・事業について広報に努めました。また、町内及び避難先開催のサロンや交流会を掲載し、支援の輪を広げる取り組みを行いました。

*1回あたりの発行部数 8,900部

11. 介護保険事業の推進

(1) 居宅介護支援事業

自宅で生活している要支援・要介護認定を受けた高齢者及びそのご家族からの相談に応じ、日常生活の課題分析、ケアプラン作成、事業者との連絡調整を行いました。また、町受託の認定調査を実施しました。

種 別	令和 6 年度	令和 5 年度
	延べ利用件数	延べ利用件数
居宅介護支援(要介護 1~5)	569	619
介護予防支援(要支援 1~2)	40	43
介護予防サービス支援計画作成	119	131
認定調査	17	18
合計	745	811

(2) 訪問介護事業

自宅で生活している要支援・要介護認定を受けた高齢者の入浴、排せつ、食事、

服薬介助等の身体的サービス、掃除、買い物、調理等の生活支援的サービスを提供しました。

種 別	令和 6 年度	令和 5 年度
	延べ利用件数	延べ利用件数
訪問介護（要介護 1～5）	122	119
訪問型サービス（要支援 1～2）	141	93
合計	263	212

（３）地域密着型通所介護事業・通所型サービス事業

自宅で生活している要支援・要介護認定を受けた高齢者の入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練などのために、日帰りで通って受けるサービスを提供しました。

種 別	延べ利用件数
地域密着型通所介護（要介護 1～5）	2,578
通所型サービス（要支援 1～2）	686
合計	3,264

・季節ごとの行事の実施

観桜ドライブ(10回)、あじさいドライブ(10回)、なつまつり(5回)
運動会(5回)、敬老会(5回)、紅葉ドライブ(10回) カラオケ大会(15回)
クリスマス会(5回)、クリスマスお菓子作り(5回)、ミニ門松作成(1回)
新年会(5回)、福笑い(5回)、かるた大会(5回)、だんごさし(1回)
節分豆まき(5回)、ひな人形飾り(1回)、ひなまつり(5回)、誕生会(48回)

・ボランティアの受け入れ

個人：2名 計6回（ギター演奏会、福祉ネイル）
団体：3団体 武扇会・淑美会（踊り披露）コーヒータ임合同クリスマス会

・地域への貢献活動

相馬看護専門学校1年生実習生受け入れ(2名)
浪江創成中新任教員社会貢献活動受け入れ(1名)
浪江町認知症サポーターフォローアップ講座講師派遣(1名)
認知症初期集中支援チーム員研修講師派遣(1名)

1 2. サポートセンター事業（町受託）

（１）高齢者介護予防サロン事業

高齢者等が気軽に集え、交流を深めることで心身ともに健康な生活を送ることを目的とした、介護・認知症予防に役立つ体操教室及び交流サロンを実施しました。

種別	登録人数	延べ 利用人数	摘 要
健康づくりサロン	35	1,343	介護予防のための体操
地域交流サロン	31	90	認知症予防、外出、食事会、調理会及び口腔ケア

(2) 訪問介護形式事業

浪江町内の概ね単身高齢者等に対して日常生活上の援助による自立支援の促進を図るため、在宅訪問による家事等の支援、高齢者等の安否、生活状況の確認、栄養改善支援、見守り対策等を行いました。

種別	登録人数	延べ 利用人数	摘 要
訪問型サービス	3	46	買い物支援及び自立支援
見守り安否確認	494	748	体調確認、サポセン事業案内、サロン案内及び定期的見守り
配食サービス	9	134	弁当配達、安否確認及び体調確認 ※うち6名中止

(3) 通所介護形式事業

帰町した高齢者に対して、閉じこもり防止、孤独の解消やストレスの軽減、精神面の維持向上を図るため、送迎付きで食事や入浴、レクリエーション等のサービスを行いました。

種別	登録人数	延べ 利用人数	摘 要
通所型サービス	2	145	生きがいデイサービスでの活動

(4) 総合相談・生活援助の支援

帰町した高齢者等の在宅生活に支援を要する者に対して、日常生活等に関する総合相談、必要に応じて関係機関への橋渡しを行いました。

種別	延べ 利用人数	摘 要
総合相談、 生活援助の支援	7	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービスの相談（3件） ・福祉資金の返済相談 ・生活支援の相談 ・体調不良継続に関わる相談 ・サロン利用についての相談

1 3. 包括的支援事業

(1) 地域包括支援センター事業（町受託）

高齢者が地域で生活しやすいように、保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士などの専門職を配置し、介護・健康・医療・福祉など多方面からの総合的な支援を行いました。

種 別	件 数	内訳件数
総合相談	830	介護関係 486 医療・福祉 17 その他 327
権利擁護	15	成年後見人制度 0 虐待 9 その他 6
介護予防ケアマネジメント	694	介護保険サービス 419 他機関連絡調整 87 その他 188
包括的・継続的ケアマネジメント	573	ケアマネ支援 549 他機関連携調整 12 その他 12

(2) 認知症総合支援事業（町受託）

- ・ 認知症初期集中支援チーム推進員による訪問
- ・ 認知症カフェにおける相談支援及び利用者への参加促進
- ・ 認知症初期集中支援チーム員合同会議への出席
- ・ 認知症初期集中支援チーム員および推進員育成
- ・ 認知症の相談対応・・・69 件
- ・ 認知症のチラシ作成

(3) 生活支援体制整備事業（町受託）

町内にお住まいの高齢者等が住み慣れた地域で生きがいをもって在宅生活を継続できるよう、生活支援コーディネーターを 1 名配置し、生活支援サービスのニーズを把握するため、積極的に訪問活動を行いました。

また、各種サロンを定期的に開催し、住民同士の交流や娯楽の場を提供しました。

さらには、支援ニーズとサービスのマッチングに取り組み、支援体制の構築・充実・強化と社会参加の促進を図るため、町内で活動している団体、NPO 法人、企業、行政等を構成メンバーとした協議体会議を開催しました。

【訪問活動状況】

種別	個別訪問	団体訪問	相談	連携機関 (箇所)
件数	620 (内新規 9)	212	35	6

【サロン等開催状況】

サロン等名	内容	回数	備考
なみえで一筆（社協主催）	習字	18回	月2回
なみ絵サロン（社協主催）	絵手紙・水彩画	12回	月1回
大人のぬり絵（社協主催）	ぬり絵	5回	R7.1月～3月
福島ユナイテッド健康教室（共催）	ボールを使った体操	4回	

【協議体会議の開催】

	開催日	内容
第1回	令和6年4月25日	議題「お助けし隊の今年度の活動について」 お助けし隊の目的と現状を共有し、活動の活性化や今後の展望についての意見交換を行いました。
第2回	令和7年2月4日	講話「浪江町の気にかけて合い支え合う地域づくり」 地域づくりの専門家を外部講師として招き、当該事業及び協議体のあり方を学び、理解を深めました。
第3回	令和7年3月19日	議題「浪江町の気にかけて合い支え合う地域づくり」 第2回の講話を振り返り、浪江町の実情に沿った協議体を運営していくための方向性について意見交換を行いました。

1.4. 福祉団体育成の支援

各種団体の諸活動をサポートし、自主運営の環境づくりに努めました。

【事務局としての支援】

① 老人クラブ

- ・役員会、総会等会議の開催
- ・各単位クラブ活動のための助成金支給
- ・浪江町高齢者福祉大会及び高齢者芸能発表祭開催と運営補助
- ・町老連交流事業(研修旅行・ニュースポーツ交流会)開催と運営補助
- ・県/郡交流事業への参加補助

② 戦没者遺族会

- ・役員会、総会等会議の開催
- ・県内行事の周知及び同行参加
- ・郡遺族会からの案内等の周知
- ・遺族会行事の運営及び周知

③民生児童委員協議会

- ・役員会及び定例会、総会等の開催
- ・各方部会へ出席し、情報共有等活動の補助
- ・委員の意見や相談をもとに行政や社協事業、関係機関との連携及び調整

④赤十字奉仕団

- ・総会の開催
- ・広報誌をとおして会員の募集